



学校だより

きずな

学校教育目標 夢に向かって 自ら学び 共に伸びる

熊野町立熊野第一小学校
令和8年2月20日
校長 梶 弘樹



子供の声に耳を傾ける

～話したいことがあるよ～

早いもので、今年度もあとひと月余りとなりました。4月、朝泣きながら登校していた子ども、少しずつたくましくなって、今では笑顔で「おはようございます！」と校門を歩いていきます。「おはようございます。今日もがんばってるね！」私もうれしくなって声をかけます。

ある朝、校門で挨拶をしながら児童を迎えていると3人の子供たちが登校してきました。「おはようございます」と声をかけると一人の子が「水筒のフックに手が挟まって痛かったんよ」と指を見せながら話してくれ



ました。次に、隣にいた子が「私は足を擦りむいたんよ」と競うように怪我のことを教えてくれます。すると3人目の子が少し考えて、「私、恐竜の絵をかいている。」と教えてくれました。私は楽しくなって「そうなんだ。恐竜が好きなんだね！」と言葉を返すと、その子はにっこり笑ってうなずきました。

校門を歩いて通り過ぎる間の短い時間でしたが、子供たちは何か言いたいこと、話したいことをいつももっているんだなぁと感じた瞬間でした。



～冬のわくわく～

寒い冬の日。校庭がうっすらと雪化粧しています。白い息を吐きながら子供たちが登校してきます。学校の門が見えたとたんに駆けだしてくる子。友だちと楽しそうに話しながら笑顔で登校してくる子。寒そうな顔でゆっくり歩いてくる子。様々です。

「今日、つららがすごかった。」「へー、珍しいね。どこで見つけたの?」「家の前の竹のところで水が流れていてそこにあった。」

すると別の子が、「葉っぱのところに変な形の氷も見つけたよ。」「変な形?」「そう、葉っぱとくっついて丸まっとった。」「なるほど、よくみつけたね。」冬の寒い登校時間にも、子供たちには色々な発見や驚きがあるようです。

今年の冬は、大雪も降りました。雪が積もった次の日の朝は、校庭がガチガチに凍っていました。そんな寒い朝でも子供たちは、校門から教室に入るまでの間に雪の感触を確かめたり、凍った土を踏みしめて足の裏でその面白さを味わったりしていました。子供たちの周りには学びにつながる不思議がいっぱいです。



授業参観・学級懇談会 ご参加ありがとうございました

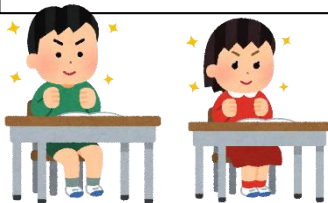
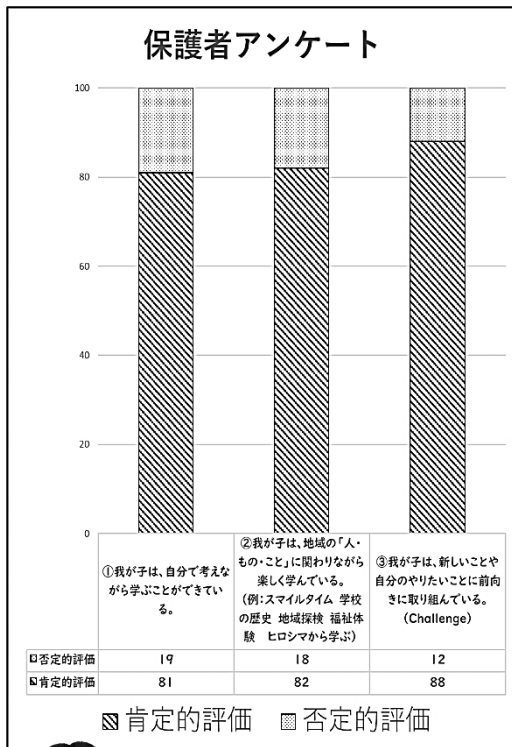
13日(金)には、本年度最後の授業参観及び学級懇談会がありました。授業では、これまでの成長を振り返ったり、感謝の気持ちを伝えたり、楽しく学習している様子を見ていただいたりと様々でしたが、この1年間、たくさんのチャレンジを通して成長してきた子供たちの姿を観ていただけたと思います。また、その後の学級懇談会にも多数ご参加いただきありがとうございました。



本年度はあと少しですが、一緒に子供たちのチャレンジを支え、頑張りを応援していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

学校評価アンケートについて(1月)

学校の取組等について、アンケートにご協力いただきありがとうございました。本年度重点目標とし取り組んだ Challenge(チャレンジ)に係る項目について、児童アンケートでは肯定的評価の割合が92%、保護者アンケートについては88%と、どちらも肯定的評価の割合が増えました。児童が新しいことや自分のやりたいことに前向きに取り組んでいけるように、今後も引き続き取り組んでいきます。CS(コミュニティ・スクール)の充実も進んでいますが、外遊びなど課題が見られる項目もあります。いただいた結果について今後の取組に生かし、さらに充実・改善を図っていこうと思っています。ご協力ありがとうございました。



学校奨励賞

令和7年度環境と健康のポスター・標語コンクール事業に4・5・6年生が参加し、学校奨励賞として図書カードをいただきましたので、図書室の書籍の購入に活用しました。

